

救急処置法

救急処置法

2 単位 (選択) 3 年 (後期)

野村 昌弘・肩書, 佐竹 昌之・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 運動指導時における傷病の救急処置法や運動傷害予防法を学ぶ

【授業概要】 運動者の健康管理で必要とされる救急処置・応急処置と運動障害予防のための手法を習得させる。

【キーワード】 障害予防, 傷害予防, 応急処置, 救急蘇生

【先行科目】 『応用解剖生理学』(1.0)

【関連科目】 『コーチング論』(0.5)

【到達目標】

1. バイタルサインのチェックの習得
2. 救急処置法の習得

【授業計画】

1. 傷病者の観察とバイタルサイン
2. 運動による内科的障害
3. 内科的障害の予防
4. 運動による上肢の傷害と予防
5. 運動による下肢の傷害と予防
6. 運動による脊柱の傷害と予防
7. 止血の理論と実際
8. 皮膚外傷の処置と対応
9. 救急処置総論
10. 救急蘇生の理論と実際
11. 対症処置各論:熱中症
12. 対症処置各論:薬物・アレルギー
13. 救急医薬品
14. 医療的ケア
15. 定期試験
16. 総括

【成績評価】 講義の出席状況と試験

【再試験】 なし

【教科書】 なし

【参考書】 講義内に資料を提示する

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220204>

【連絡先】

⇒ 野村 .

Target 運動指導時における傷病の救急処置法や運動傷害予防法を学ぶ

Outline 運動者の健康管理で必要とされる救急処置・応急処置と運動障害予防のための手法を習得させる。

Keyword 障害予防, 傷害予防, 応急処置, 救急蘇生

Fundamental Lecture “応用解剖生理学”(1.0)

Relational Lecture “コーチング論”(0.5)

Goal

1. バイタルサインのチェックの習得
2. 救急処置法の習得

Schedule

1. 傷病者の観察とバイタルサイン
2. 運動による内科的障害
3. 内科的障害の予防
4. 運動による上肢の傷害と予防
5. 運動による下肢の傷害と予防
6. 運動による脊柱の傷害と予防
7. 止血の理論と実際
8. 皮膚外傷の処置と対応
9. 救急処置総論
10. 救急蘇生の理論と実際
11. 対症処置各論:熱中症
12. 対症処置各論:薬物・アレルギー
13. 救急医薬品
14. 医療的ケア
15. 定期試験
16. 総括

Evaluation Criteria 講義の出席状況と試験

Re-evaluation なし

Textbook なし

Reference 講義内に資料を提示する

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220204>

Contact

⇒ Nomura .